

## 第3・4学年国語科学習指導案

日時 令和2年10月15日(木) 5校時  
 対象 3年生 1名 (4年生 2名)  
 指導者 大畑 咲恵

1 単元名 組み立てをとらえて、民話をしようかいしよう  
 教材名 「三年とうげ」(光村図書3年下「あおぞら」)

### 2 単元の目標

- (1) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。  
 [知識及び技能] (1) オ
- (2) 登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。  
 [思考力、判断力、表現力等] C (1) エ
- (3) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。  
 「学びに向かう力、人間性等」

### 3 単元について

#### (1) 児童について

- ・「まいごのかぎ」において、物語全体を通して読み、登場人物の行動や気持ちの変化に気をつけて読むという学習経験がある。
- ・「ちいちゃんのかげおくり」において、物語の出来事を自分なりに捉え、感想をもつという学習経験がある。
- ・場面の移り変わりに注意しながら物語を読み、叙述を手掛かりとしながら、登場人物の気持ちの変化を読み取ったり物語全体の内容を正確に理解したりする力が身に付いてきている。

#### (2) 教材について

- ・本教材は、物語の展開を捉えたうえで、登場人物の変化を考えることをねらいとして設定されている。
- ・場面の様子や登場人物の言動が分かりやすく表現されているので、叙述に基づいて内容を豊かに読み取ることができる教材である。
- ・言語活動には「民話や昔話を紹介する」活動が位置付けられており、「民話の里・遠野」に住む児童にとって身近に感じられる教材である。

#### (3) 指導にあたって

- ・本単元における言語活動
  - 民話や昔話を紹介する。
- ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫等

#### ◆西中学区視点①【学習意欲の向上について】

- 教科書に掲載されている「見通しをもとう(学習の手引き)」をもとに学習を進める。
- 考えるべきことを焦点化する(「伝え合い交流シート」の活用)。

#### ◆西中学区視点②【言語活動の充実について】

- 教材や教師との対話を大事にし、ノートに根拠となる叙述や自分の考えを書く時間を十分に確保する。
- 導入や終末を4年生と行い、児童同士で交流する時間を設ける。

### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。(1) オ	①「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。C (1) エ	①進んで、登場の気持ちの変化について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習の見通しをもって、考えたことを文章にまとめようとしている。

## 5 指導と評価の計画 (全6時間)

	時	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
第一次	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「民話」の意味を確かめ、今までに読んだ民話や昔話を想起する。</li> <li>・題名から物語の内容を想像する。</li> <li>・単元名 (学習のゴール) を確認する。</li> <li>・紹介文を書くためにどんな学習をしていけばよいかを見通す。</li> <li>・範読を聞いておおまかな内容を捉え、初発の感想を書く。</li> <li>・P77「この本、読もう」を見て、民話や昔話の読み広げに意欲をもつ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4年生とともに単元のめあてを確認し、どちらも「紹介する」ことをゴールとして学習を進めていくことを確かめる。</li> <li>・教師が書いた不完全な紹介文を示す。そこから紹介文にはどのようなことを書くかについて触れ、学習への必要感をもたせる問いかけをする。</li> </ul>	<b>【態】</b> 単元のめあてを理解し、学習の見通しをもつことができている。(発言・記述)
	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「とらえよう」の①～④の課題に取り組み、民話や昔話に当てはまる組み立てを知る。</li> <li>・「三年とうげ」の組み立てを理解する。</li> </ul> <b>【「とらえよう」の課題】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①「三年とうげ」は、どんなところで、どんな人物が出てくるか。</li> <li>②どんな出来事が起こったか。</li> <li>③新たにどんな人物が登場し、どのように解決したか。</li> <li>④その後、「おじいさん」はどうなったか。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①～④について、表に整理しながらまとめ、物語の組み立てが視覚的に捉えられるようにする。</li> </ul>	<b>【思】</b> 民話や昔話にあてはまる組み立てを理解している。(発言)
第二次	3 本時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物語を通して、お話のはじめと終わりで、誰が、何によって、どのように変わったのかを考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心人物の変容を捉えるために、行動や様子を表す言葉に気をつけながら読むよう指示する。</li> <li>・組み立てに沿って、中心人物の様子を確かめ、前時の表に書き込んでいく。</li> </ul>	<b>【知】</b> 中心人物の言動、様子などを表す語句について着目し、語彙を豊かにしている。(発言・記述) <b>【思】</b> 組み立てに沿って、場面の移り変わりや結び付けながら、出来事や中心人物(おじいさん)の行動や気持ちの変化を捉えている。(発言・記述)
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふかめよう」の観点を参考にしながら、「三年とうげ」のおもしろいところをまとめる。</li> </ul> <b>【「ふかめよう」の観点】</b> <ol style="list-style-type: none"> <li>①物語の組み立て。</li> <li>②登場人物の行動や様子の表し方、また、その変化。</li> <li>③言葉の使い方や文の調子。</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の観点を確認し、着目したところをノートに書き写してから考えを記述するよう指示する。</li> </ul>	<b>【思】</b> 文章を読んで理解したことに基づいて、既習内容と結び付けて自分の感想や考えを記述している。(記述)
第三次	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が読んだ民話や昔話について、おもしろかったところやその理由をノートにまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・P79「しょうかいのれい」を参照して、紹介のしかたを確認する。</li> </ul>	<b>【態】</b> 「三年とうげ」で学習した読み方をいかして、おもしろいところを見つけている。(発言・記述)
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民話や昔話のおもしろさが、4年生に伝わるように紹介する。</li> <li>・単元の学習を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ふりかえろう」や「たいせつ」をもとに、学習内容を具体的に引き出して、単元を振り返る。</li> </ul>	



